

# 中部地区モデル QR分科会ベースキャンプ

課題一覧（提案、ペンディング含む）

## 補足資料(案)

協力：宮川氏・菅野氏・鈴木理事・兼子

（若い人の意見を尊重！）

## 「SCCC協議会設立の経緯」

SCCC協議会は、社）持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（ESD21）の「わくわくJIT研究会（主査：河田名城大名誉教授）」メンバーが主となり、TPS（トヨタ生産方式）の代表格「流れを創る」をベースに、我が国のサプライチェーン資金循環速度：SCCC指標による生産性向上を意図して新設しました。

## 「SCCC協議会設立時の目標」

SCCC協議会の目標を、「**SCCCを良くするための普及展開を図る**」べく、IoT・FinTech等を基盤技術として、『物流・金流・商流リアルタイム統合システム』の構築を通じ、TPS（トヨタ生産方式）の代表格「**流れを創る**」をベースに、**現場力・本社力・IT力の機能連携を進め、我が国の生産性革命に寄与する**」としました。

# 「SCCC協議会 目標と実施事項」

## ○目標：資金循環速度向上10倍速

\* TPS (トヨタ生産方式) の代表格「流れを創る」

●大目標：日本の「SCCC(政府・民間)」を短縮する。

●中目標：「全ての伝票にQRコード」を政府の政策にする。  
(「SCCC規格：QRコード標準」の整備と普及)

●小目標：中部地区で「QRコード伝票」成功事例を作る。

# ○現状の課題

- (1) 資金循環速度向上が肝要であるが、世の中の**会計制度が追いついていない**。
- (2) **成長戦略の指標になったが、未実施の状態(特に政府調達)**。
- (3) 「SCCC規格:QRコード標準(案)」は出来たが、**素人には分かりづらい**。
- (4) 流通業界においては、全ての商品へのQRコード等による成功事例があるが、**製造業でのQRコード利用が限定的**。
- (5) 大規模製造企業における工程、プロセス管理は成熟しており。QRコード活用も進んでいるが、**中小規模企業では活用されていない**。
- (6) **零細企業ではまだ手書き、FAX、手入力**が主な発注書、請求書発行であり、電子化が進んでおらず、DXも進んでいない。
- (7) 零細企業での**Excel版「岸田モデル」の活用が停滞**している。

.....etc

# ○課題解決案

【全体案】上記課題は粒度に差がある。

- ①政府提言（大目標・中目標）
- ②製造業モデル化（中目標）
- ③局所的なDX適用（小目標）

各々別チームで検討を進める。|||

※河田先生作成Excel版「ベースキャンプ」をもとに  
チーム、タスク分割、スケジューリングを行う。

## 【アプローチ方法：チーム構成】

### ①政府提言：「政府提言チーム」

＜ミッション＞：問題点(1)(2)(4)

最終ゴールに向けて理論構築し、政府提言を進める(理想の具体化)。

### ②製造業モデル化：「SCCC規格：QRコード標準化チーム」

＜ミッション＞：問題点(3)(5)

「製造業用QRコード標準」を整備し、標準化を進める(モデル化)。

### ③局所的なDX適用：「QRコード活用・普及活動チーム」

＜ミッション＞：問題点(6)(7)

「岸田モデル」をもとに具体的な実例を拡大。認知と普及を進める(汎用化)。

## 【実施案】

- 各チームを構成し、チームごとに具体的なタスク（ベースキャンプをもとに検討）、スケジュールを立案する。**各チームにリーダーを設ける。**
- プロジェクト全体は、河田先生に管理して頂くが、**  
チーム毎の進め方は、各チームリーダーが行う。
- 定期的に進捗管理、課題管理を行い、情報共有を進める。

# 実施事項一覧表(概要:案)

P- 9

「政府提言」 担当:①「政府提言チーム」

\* 主担当・納期は再調整が必要

NO	実施テーマ	実施内容	主担当	納期
1 (河10)	中小製造業伝票QR化政府提言	経済産業省にQR化推進部署の設定を依頼	河田兼子	年内
2 (河11)	資金循環速度向上に対する政府提言	政府へ「支払いはより早く」のビジョンを改めて発信	河田兼子	来年
3 (河12)	自治体公共工事に対する提言	政府自治体公共工事の益暮れ払いの60日以内化 政府率先垂範	河田兼子	来年
4 (河13)	製造業QRコード仕様提言(ベンダー)	マイクロソフトを含むデータ標準化の提言(漢字データ)	河田野村兼子	来年
5 (河14)	製造業QRコード仕様提言(標準化)	協賛ESD21と共に、日本の標準生産方式に推薦頂く	河田野村	来年
6	全ての伝票にQRコード	政府に「全ての伝票にQRコード」を提言	野村兼子	来年

\* 河NOは、河田先生作Excel版「ベースキャンプ案」実施事項一覧のNO

# 「SCCC規格:QRコード標準」 担当:②「SCCC規格:QRコード標準化チーム」

NO	実施テーマ	実施内容	主担当	納期
1(河1)	SCCC規格:QRコード標準の修正	SCCC規格:QRコード標準ver 0.1.0の修正	兼子 岸田	年内
2(河5)	DADCアーキエクチャー図一部 修正	EDI参加企業でも、改めてQR伝票の発行を可能にする。	兼子	-9/30
3(河6)	検収プロセス、検品プロセスでの活用	QRコード利便性の確認(外国人従業員利用)、 現地現物利用	河田 野村	年内
4(河7)	マクロ体系整合性確認打合せ	岸田モデル 野村モデル 位置づけの確認	河田 野村 岸田	-11/30
5	個別生産におけるQRコード活用	個別製造業適用検討	野村 宮川	来年

\* 河NOは、河田先生作Excel版「ベースキャンプ案」実施事項一覧のNO

# 「QR利活用」 担当:③「QRコード活用・普及活動チーム」

NO	実施テーマ	実施内容	主担当	納期
1 (河2)	QR伝票利活用クイックガイド整理	簡易なQR伝票の利活用説明	兼子 鈴木	年内
2 (河3,4)	岸田アプリダウンロード方式	アプリの最新確認とダウンロード方式の検討 (適用範囲、ターゲットの設定)	宮川 菅野	-11/30
3 (河9)	ホームページ改修	アプリダウンロード方式検討、認知、拡大／ ホームページでのダウンロード申請機能強化。 新規ホームページの検討(閲覧頻度向上等)。	宮川 菅野	-11/30
4	「岸田モデル」の普及	「岸田モデル」の具体的な成功実績を数社 作る(商工会議所等)。	兼子 宮川 菅野	来年

\* 河NOは、河田先生作Excel版「ベースキャンプ案」実施事項一覧のNO

**「全体統括」 担当:①②③**

NO	実施テーマ	実施内容	主担当	納期
1 (河15)	<b>「流れ創り」</b> DX・AIの普及	「瞬間払い」DX・AI化の奨め。(トヨタ系:スマートな「関税」対策)	河田 鈴木	来年
2 (河8)	QR化事業としての採算性確保	QRコード利活用における予算検討(採算性、実現性測定)。	河田 鈴木 兼子	年内

**\* 河NOは、河田先生作Excel版「ベースキャンプ案」実施事項一覧のNO**